

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ココカラ西五所		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動プログラムを定期的に見直し変更しているため、マンネリ化した状態になっていない。	・効果的な活動ができるように身体構造や習得の流れなどを考慮したプログラムを提供している。	・保護者の方への周知がしきれておらず、実態に応じた療育時間の変更等を把握していない方もいるため、丁寧な説明を心がける。
2	・利用者の特性等を理解したうえで療育を行っている。	・利用者のライフステージに合わせて出来ることが広がるように接している。また、特性等に配慮しながらも、社会に出た時のことを考えてよし悪しを伝えている。	・研修等を踏まえ子どもたちへの接し方や提示できる幅を広げていく。
3	・地震、火災、高潮など状況を分けた避難訓練の実施。	・どのような天災が起きてもおかしくない状況のため、日ごろから利用者を確認し、どのように避難するかを考えている。	・心理的負担にならないようにしつつも「不審者」などの訓練も取り入れていき、いざという時に落ち着いて行動できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・空間が狭い。	・運動室に柱があり空間が限られてしまっている。	・工夫して安全に活動できる空間の確保に励みつつ、体育館での運動など、外部を利用した活動の実現に向けて取り組んでいく。
2	・放課後子どもクラブや児童館との交流がない。	・どのような内容で交流を行うか等を詰め切れていない。	・保護者様に取り組みたい活動の内容を共有をしながら、可能な範囲での活動を考えていく。
3	・父母の会の開催がない(少ない)。	・駐車場の問題など解決することが多く、複数回の開催を行えていない。	・ご協力いただける企業などを増やすため、日ごろから関わりを持つようにする。また、内容の精査を行い、保護者様が有意義に過ごせるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ココカラ西五所

公表日 2026年2月19日

利用児童数 41

回収数

31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	11	2	0	・狭いが工夫されている。	・子どもたちが怪我せず効果的に活動が出来るように工夫をしておりますが、運動療育をしていることを考えると不安に思われても仕方ありません。今後も安全に・効果的に活動ができるように空間やプログラムの工夫をしてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	4	0	4	・先生方が大変そうなので、増員の方がご負担を減らせるかと思えます。 ・5月に新しく入った女性スタッフの姿をこの頃見かけないので、どうしたのかな?と思うことがある。(利用日以外にいるのかもかもしれませんが…)	・新規スタッフについて、入社しても続かないケースが増えており、ご不安をおかけしております。今後も求人活動を続けつつ、新規スタッフへの研修内容を精査し、ゆとりある人員での療育を行えるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	8	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25	4	0	2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	1	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	4	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	5	0	1	・◎です！たくさん考えて下さってありがとうございます！	・温かい言葉ありがとうございます。月ごとに運動内容を変更しており、土台となる中心から、巧緻性の指先や力加減などの運動へと移しております。今後も一緒に活動する子どもたちにとって効果的な運動が出来るようにプログラムを精査していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	10	10	7		

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	12	2	2	・ペアレントトレーニングの受容があります。	・ペアレントトレーニングについて、現状ではご質問があった方にご返答する形で行っておりますが、需要があるとの事なので、今後保護者会などを通じて開催出来るように整えてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	11	2	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	4	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	4	0	1		
非 常 時 等	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	6	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0		

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	26	4	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	24	5	0	2	・そういった連絡がきたことがないのでわからない。	・アセスメントシートにのっとり、すぐにご連絡かお迎え時にお伝えかを判断しつつ状況等のご説明をしております。ご不明なことがございましたらいつでもご連絡ください！
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	2	0	0		
	30	システム（デイロボ）での情報共有、出欠確認等に満足していますか。	23	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回写真の共有をしていただきましてありがとうございます。楽しみの1つです。 ・自分がまだ慣れない。 ・確認し忘れてしまうことも時々あるが、欠席の連絡などがしやすくなった。写真で活動の様子が知れるのもいい。 ・事業所からのお知らせが届いてもらい通知されないため、定期的にチェックしなければならないことが不便。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から導入したシステムについて様々なご意見を頂き誠にありがとうございます。写真添付や活動がわかることへは高評価を頂いている印象であり、通知や操作感については戸惑われている方がいるように感じられます。日々システム等の情報を仕入れつつ、ココカラの活動や保護者様への連絡等に一番適している物を見つけていきたいと考えております。

総
括

- ・新規システムを導入したことで保護者様への情報発信は以前に比べて改善された感じている。一方で、システムを操作する手間や慣れなど複雑化した部分もあるように感じる。活動や保護者様にとって最も良い形は何かを考えていき、システムの乗り換え等を検討していく。
- ・ポジティブな回答への意見は記載がある反面、ネガティブな回答への意見が少ない状況にある。書きにくさがあると思われるため、気軽に意見をいえるような仕組みを考えていきたい。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ココカラ西五所		2026年2月19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> 発達課題や学年等でスペースを有効に使えるように工夫している。 机の移動などをしながら出来る限りスペースの確保をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動生活には適切であるが十分ではない 利用者数が増えているため狭く感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 日々の配置で可能な限りの支援を維持している。 法的必要数は確保できている。 求人を出しスタッフの確保に励んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 配置基準以上の配置が困難。 女性のスタッフがいない日があるなど、同姓解除に困る時がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの行動党を話し合い、可能な限りの配慮を行っている。 必要に応じて構造化したりわざと崩したりして、様々な状況に対応できるように練習している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全てにおいてバリアフリー化がなされていないため、今後出来る限り取り組みたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 限られたスペースを可能な限り有効に使える工夫をしている。 細かく清掃したり、整理整頓をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの健康を守る為、更なる改善を考えていく。 エアコン使用の為、湿度管理に注意。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 環境を整えているが、個室に限りがある。 着替えの部屋などを使い、落ち着ける空間を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> スペース等の十分な確保が課題
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に行うが、ミーティングなどの時間は不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員のみで話が止まってしまうことがある為、パートさんなどの意見も聞けるように整える。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り繋げている。 いつもご協力ありがとうございます。 	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り繋げている（システムの導入など）。 	<ul style="list-style-type: none"> 言いつらい意見を聞きだす第三者による面談も必要と感じる。

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	・同法人内で評価をもらい改善につなげている。	・現在評価事例が無いため、時期をみて取り組みたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・確保されているが、不十分な部分がある。	
適切な支援の提 示	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・システムを併用している。	・実態に合わせて変化させた際に保護者への通知が漏れてしまうことがある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・半年に1回以上面談を行い作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		・全ての職員間の認識が深まるように改善を進める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・今後システムの導入等、今以上に取り組めるように改善を進める。 ・視覚化とIT化を時代に合わせて進めていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		・パートさんへの共有が不十分な時がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・月ごとに目標・目的を変えて取り組んでいる。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	4	0	・利用時間によってしまうが、出来る限 り行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	2	2	・打ち合わせに全員がそろわない場合も ある為、個々での伝達や日誌での確認を 併用し連携を取っている。	・慢性化しないように取組等を考えてい く。 ・パート、アルバイトさん達への伝達が不 十分なため、漏れにくい伝達方法を模索す る。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		・慢性化しないように取組等を考えてい く。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	4	0	・システムを併用し日々の記録を取って いる。さらに内容が充実するように図つ ていく。	・慢性化しないように取組等を考えてい く。 ・記録業務のシステム化を進め、検証・改 善により注力したい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	1	・散歩しながらゴミ拾いなど、地域の方 たちと直接交流するわけではないが、地 域に貢献できる活動などを取り入れてい る。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		・プログラムの中だけではなく、生活の中 でも機会が増えるよう工夫する。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		・会議自体が少なく、責任者のみの参加が 多い。支援員の参加の機会を増やしたい。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	3	1		・定期的な訪問を行い、関係強化を図る必 要性を感じる。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	1	3		・主として保護者からの情報となってい る。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・努めているが、十分な連携には至っていない。 ・定期的な訪問を行い、関係強化を図る必要性を感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼等があったときなど、必要に応じて情報提供をしている。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・十分に行えていない。 ・交流の手法を検討していく必要がある。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		<ul style="list-style-type: none"> ・回数や内容等を検討し、実現に向けて課題を整理していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		<ul style="list-style-type: none"> ・時間が取れない保護者の為にオンラインなど柔軟に対応できるように整える。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・利用者がいない時間帯で希望に沿って行っている。	・ケースが少ないため、相談しやすい環境を整える。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・機会増加や内容を改めて考え、可能となるように環境を整えていく。	・父親の参画が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・システムを用いて共有している。	・SNSの活用を進め、よりリアルな発信を進めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・鍵付きロッカーに保管するなど徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・交流活動の環境が整っていないため、整備を進めていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		・開示まで出来ていないため、開示できるように整える。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		・備品等適切であるか今後も検討を続ける。 ・避難訓練の内容を更新していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・必ず確認し、症状が出た際の対応方法をスタッフ間で訓練している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		・保護者へのアレルギーの確認はしているが、医師の指示所が必要なケースは今の所なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		・今後も検討、改善を繰り返していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		・周知の機会、手段を改善していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		・十分なケースに至らないため、意識を含め改善を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・必要な研修は必ず行っている。	・常に意識できるように研修等の見直し、改善を行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		